



とっておきの夏になる
ボランティアに出会おう!

久世第二保育園(久世)



なかよし学童クラブ(八束)



デイサービスセンターゆずの実(北房)

2025年

夏のボランティア体験事業 参加者募集中!

真庭市社協は、7月～8月の夏休み期間に、市内の保育園や高齢者・障がい者・児童施設、ボランティアグループ、図書館等の協力のもと、「夏のボランティア体験事業」をおこなっています。

ボランティア活動を通じて、福祉についての理解を深めると同時に、さまざまな出会いのなかから、新しい発見や「ともに生きていく」視点について考えることを目的として実施しています。

昨年参加した方はもちろん！ボランティア活動に興味はあるけど、まだ参加したことの無い方、この夏、ボランティア活動に参加してみませんか？

夏のボランティア体験事業は、皆様からの赤い羽根共同募金に支えられています。



参加者の声

- ・初めは何をしたらいいか分からなかったけど、友達や先生からのアドバイスがあったおかげで、自分から積極的に活動できるようになりました。
- ・大人の方に「ありがとう」「助かる」と言ってもらえて、やりがいを感じました。
- ・あいさつや時間を守ること、周りを見て行動することが大切だと学びました。これからの学校生活に活かしたいです。

詳しい内容は
次のページを見てね



2025「夏のボランティア体験事業」参加者募集中!!

対象者

ボランティアに興味があり、次の条件を満たす方

- ①真庭市内に在住または在学の方、真庭市内に勤めている方
- ②事前研修・活動調整・事後研修に参加できる方

募集期間

令和7年6月2日(月)～令和7年6月20日(金)

ボランティア活動期間・活動場所

令和7年7月22日(火)～令和7年8月29日(金)

真庭市社協ホームページに掲載している受け入れ先一覧から活動場所を選びます。

※受け入れ施設と調整し、上記期間の希望日に活動します。

※中学生は、原則、お住いの地域から活動先を選んでください。



活動中の様子(真庭市立落合こども園)

参加申込

参加申込書と350円(ボランティア活動保険料)を、学校かお近くの社協へ提出ください。参加申込書は社協各支所窓口にあります。

※ホームページからもダウンロードできます。

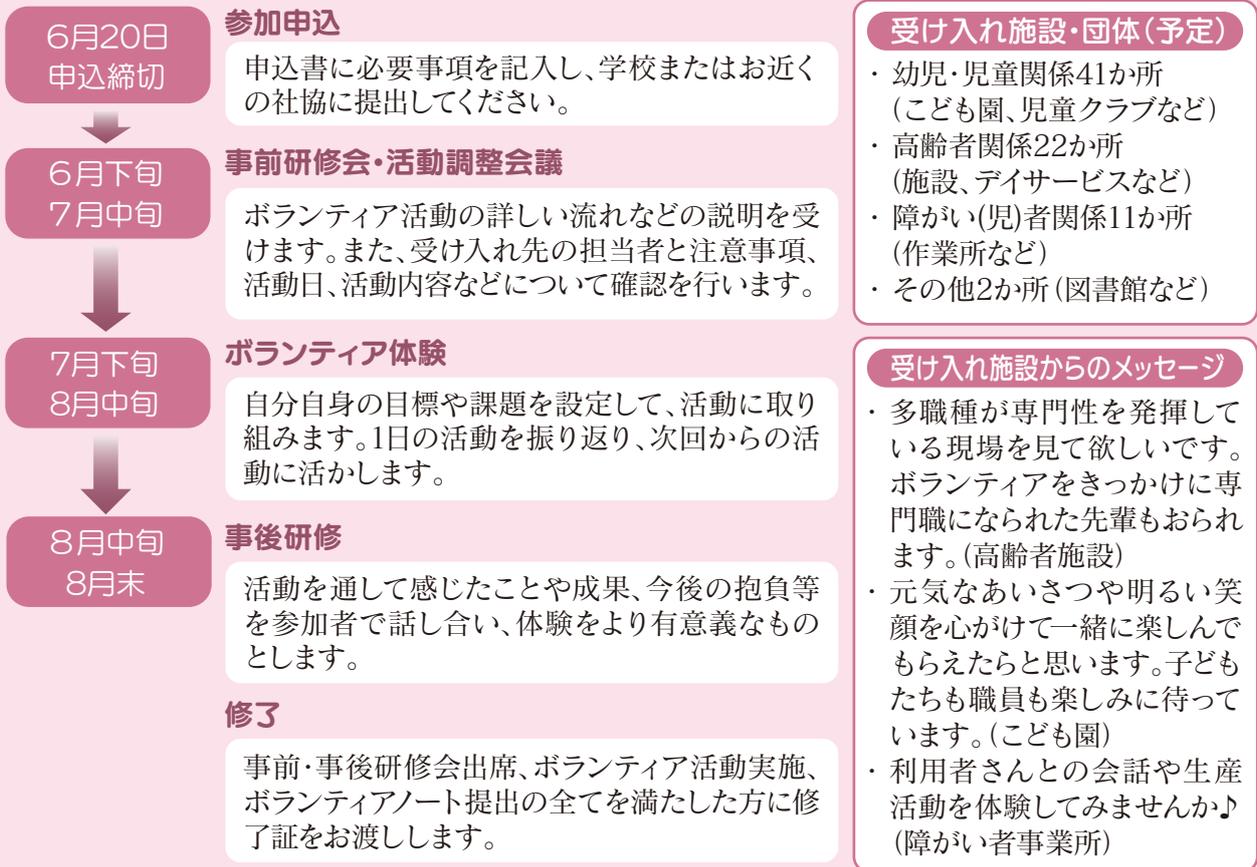


真庭市社協HP

注意点

ボランティア活動中は、体調管理に気を付けてください。体調不良、発熱、風邪症状等がある場合は、必ず活動先に連絡し、無理な活動はしないようにしてください。

ボランティア体験のながれ



皆さまの善意が福祉活動に活かされています

善意銀行だより

〔敬称略・受付順〕

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

寄付金 四月三十日

合計 七十六万三千四百円

〔本所〕

池田 義男(櫻 西 香典返し)
 前田 典子(惣 俣 び 草)
 池田 建吾(三 阪 忌 明 け)
 真庭武道振興会 (篤志寄付)
 芦田 士郎(日 名 篤志寄付)
 福島 真人(目 木 俣 び 草)
 亡 隅田 幸雄

TEAM西組 奥井 晃
 (島根県出雲市 篤志寄付)

〔北房支所〕

西川 正幸(五 名 香典返し)
 植田 兼司(阿 口 香典返し)
 大石 晴美(上 水 田 見 舞 返 し)
 牧原 信江(宮 地 香典返し)
 宮田 修(上 水 田 香典返し)
 嶋田 清一(倉 敷 市 香典返し)
 吉田 房江(下 中 津 井 香典返し)
 柳生 晴彦(上 水 田 忌 明 け)
 古林 齊(上 水 田 香典返し)
 【落合支所】
 寺口 充匡(上 市 瀬 香典返し)
 岡田 壽夫(上 市 瀬 香典返し)
 村上 輝義(西 原 香典返し)

河本 泰之(下 河 内 俣 び 草)
 小出 実(田 原 香典返し)
 小出 実(田 原 忌 明 け)
 近藤 哲次(鏡 野 町 香典返し)
 難波 健二(下 方 香典返し)
 亡妻 先原 八重子

先原 保(西 河 内 香典返し)
 岡本 常良(下 市 瀬 香典返し)
 岡田 安弘(古 見 香典返し)
 芦田 弘子(上 河 内 香典返し)
 玉田 洋司(西 河 内 香典返し)
 亡 小寺 幸

〔勝山支所〕

山下 登(若 代 畝 香典返し)
 亡 田中 清一
 田中 廣之(荒 田 香典返し)
 太田 就吉(本 郷 香典返し)
 元島 正(月 田 香典返し)
 重藤奈津美(神 代 忌 明 け)

〔美甘支所〕

寺田 幸平(美 甘 忌 明 け)
 滝川 基保(美 甘 香典返し)
 植田 俊平(田 口 香典返し)
 植田 俊平(田 口 忌 明 け)
 藤田 政己(都 喜 足 香典返し)
 藤田 政己(都 喜 足 忌 明 け)

〔八束支所〕

亡 渡邊 章子
 渡邊 治(森 山 吉 田 香典返し)
 【川上支所】
 山根 篤史(森 山 上 福 田 香典返し)
 長尾 昭二(森 山 西 霧 部 香典返し)

善意銀行へのご寄付をありがとうございました。
 ご寄付は社会福祉協議会の各種社会福祉事業へ活用させていただきます。



心配ごと相談所(6月の予定)

※相談無料、予約不要です。

北房(真庭市役所北房振興局)	26日(木)	9時~12時
落合(落合老人福祉センター)	12日(木)	
久世(真庭市役所本庁舎)	25日(水)	
勝山(勝山保健福祉センター)	6日(金)	13時~16時
美甘(真庭市役所美甘振興局)	10日(火)	
湯原(湯原保健福祉センター)	19日(木)	9時~12時
中和(中和デイサービスセンター)	6日(金)	

電話(0867)42-1005 FAX(0867)42-2263
 ※秘密は固く守られます。どちらの相談所でも相談可能です。

実は「たいく」?



夏のボランティア体験事業

「夏のボランティア体験事業」は、県内の市町村社会福祉協議会が夏休み期間(主に7月~9月)等に実施している事業で、岡山県以外にも埼玉県や長野県など、全国各地の社会福祉協議会が実施しています。

実は、「たいく」長い歴史!

岡山県では、1982(昭和57)年に第1回目が開催され、今年で43回目。参加者の人数は、延べ20万人近くになります。真庭市でも、2005(平成17)年の合併以降、毎年開催していて、昨年は、183名、第1回からの延べ人数は約6,000人になりました。

親子2世代で参加した人もあるかも…?



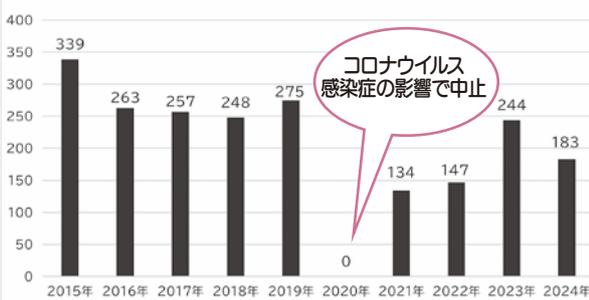
実は「たいく」「リポーター」

昨年の参加者の内、41%が「2回目」、9%が「3回目」、1%が「4回目」の参加で、約半数がリポーターでした。

そして、参加者の94%が「これからもボランティア活動に参加してみたい」と回答しています。

コロナウイルス感染症の影響後は、参加者が減少していますが、ボランティアの楽しさと将来の職業イメージが学べるステキな体験です。夏休みに実は「たいく」ボランティア、してみませんか?

夏のボランティア体験参加人数の推移(真庭市)



ないませマルシェで赤い羽根共同募金活動を行いました!



5月11日(日)、中央図書館前駐車場、勝山保健福祉センターで「ないませマルシェ」が開催されました。

真庭市社協勝山支所は、「たべものステーション食品寄付」の呼びかけと「赤い羽根共同募金」の募金活動を行いました。大勢の方がご協力くださり、皆さんからたくさん善意が集まりました。

【募金額 11,054円】

また、当日は「きょうちゃんぬりえコーナー」を設置し、子どもから大人までいろいろな色のきょうちゃんを描いてくれました。描いてくれたきょうちゃん、勝山支所の入口に掲示していますので、お近くにお越しの際はご覧になってください。



ご協力ありがとうございました!



「たべものステーション」にいただいた食品の寄付は、市内のお困りの世帯への食品提供に活用させていただきます。



色とりどりのきょうちゃん



すてきに塗ってくれてありがとう!

「障がいのある人も無い人もおさまから高齢者の方までみんなが「こちゃませ」で楽しめる!」をコンセプトで開催されたマルシェ。食べ物や体験・遊びなど、様々な出店がありました。

ないませマルシェ

発行所: 社会福祉法人 真庭市社会福祉協議会 〒719-3201 真庭市久世2928 Tel 0867-42-1005 Fax 0867-42-2263 E-mail: m.shakyo@gmail.com http://www.maniwa-shakyo.or.jp ホームページ

2025.6.1 NO.242

災害の備えチェックリスト



▲首相官邸のホームページからダウンロードできます

①自分でそなえる 水や食料を備蓄しておく。非常持ち出し袋を用意する。外出中の災害に備えて必要最低限の防災グッズをカバンに入れておく等。



夏から秋にかけて、台風や、狭い範囲に数時間におたり強く降る集中豪雨、短時間に強く降る局地的な大雨が発生し、大きな被害をもたらします。2018年の西日本豪雨災害は7月に発生し、甚大な被害となりました。集中豪雨や大雨による災害から身を守るために、身の回りのそなえを確認しておきましょう。

③地域でそなえる 日頃からあいさつするなど、交流の輪を広げて、どんな人が地域にいるのか知っておく。要配慮者(高齢者や障がいのある方、乳幼児、外国人など)にどのような支援が必要か、地域の集まりなどの機会にみんなで相談しておく。

②家族でそなえる 避難場所を決めておく。非常持ち出し袋の置き場所を決めておく。住んでいる地域の危険な場所を一緒に確認しておく等。

みんなで災害にそなえよう

広報担当のつばやき 災害にそなえて非常持ち出し袋を作ってみました。どんどん詰めていくと結構な重量で、避難するのに体力をつけることも必要かなと思っています。(井上)



真庭市社協HP